

Designer's Restaurant

Fukuoka Selection

想像を駆り立てる、
カタチ香る
北欧の別荘へ。

言葉にはサインがある。その響きには魂がこもる。サナリという名前のレストランには、すでに命が吹き込まれている。

… 北欧に建つ別荘のような、その佇まい。しかし、主はいつも不在だ。訪れるのは、サナリの名を知る友人達だけ。部屋の中は常に正しく整えられ、カレンダーは捲られる。専属の料理人はいかなるリクエストにも応えられるように厨房に控え、給仕はワインセラーの温度計を見張りながら、グラスを磨く。やがて扉は開く。かくして今夜も、主のいない別荘は賑やかな夜を迎える。

部屋は2つ用意されている。鮮やかなパーティーションで仕切られているが、どちらも落ち着いた大人の空間だ。左はテーブル&チェアの書斎。大きな書棚には主の趣味なのだろうか、煌びやかな背表紙を持つ料理の専門書が並んでいる。右は上品な堅さのソファを設えた、ゆったりとした霽間気の部屋。正面奥の壁には主が仕留めたのが、Eynoとあだ名の付いた牡鹿の剥製が飾られている。2つの部屋を優しく照らすのは木造のシャンデリアをイメージさせる、北欧独特の灯り。耳を澄ますと、夏でも暖炉で薪がはぜる音が聞こえてきそう、そんな俗世間とはまったく違う時間と空間が、サナリには流れている…。

MIN STUE SANARI

ミン ストゥーエ サナリ

所 / 福岡市中央区春吉3-11-19

酒肴小路博多1階

電話 / 092-722-3300

営業 / 18:00~24:00 (OS23:00)

休 / 日曜

物語性に満ちたこの空間を創り出したのは、数々の店舗デザインを手掛ける注目のデザイナー、長谷川演氏だ。シンプルでいて説得性の高いデザインに翻弄された友人達は、ひととき空想のバカンスを楽しみつつ、本物のフレンチを堪能することとなる。

腕を振るうのは国内外にファンを持つ、村上シェフだ。ハツとするほどのアイデアとセンスを盛り込んだ。魅せるフレンチに、ゆったりと酔いしれよう。さあ、気になる人を誘いだしたくなる、とっておきの空間へ。まだ見ぬ主の顔を想像しながら、訪れていただきたい。

整然とした霽間気ではなく、知人の別荘に招かれたような、どこか人の温もりを感じさせる

北欧をテーマにした洒落た空間で味わう、ヘルシーなフレンチが人気のレストラン。暖炉に剥製、本棚のある空間は誰かのリビングルームにお邪魔したような落ち着きがある。大切な記念日にもぜひ。



→料理はどれも、一枚の絵。サナリでは眺めることも、味わう楽しみの一つだ。いちばん手前がサナリの名物である、村上シェフオリジナルによる、子羊ロース肉のポテト包み焼き